

2023年度
事業報告書



公益社団法人 日本鍼灸師会

議 事

2023年度事業報告の件

I. 研修事業

研修事業担当・副会長 安田 政寛

1. 研修委員会

研修委員長 荒木 善行

専門領域研修事業（生涯研修制度支援）

(1) 専門領域研修の実施運営 NELS研修へシフト

① NELS コンテンツとして、専門領域研修コース（PDS）の動画作成

(2) （公財）東洋療法研修試験財団の生涯研修制度

① 生涯研修制度（開催届、終了報告書、研修修了証書）の申請代行

② 財団共催の生涯研修申請代行（メール申請可）

鍼灸臨床研修事業

(1) 日鍼会 eラーニング研修システム（以下、「NELS」）のリリースと更新

① 臨床基礎コース（CFS）

② 生涯研修コース（LES）

③ 専門領域研修コース（PDS）

④ 履修科目修了者へ簡易テストと実施と修了証の発行（デジタル修了証）

⑤ 新学術研修管理（NGK）システムとの共有

⑥ その他、NELSに関する業務

(2) NELS 運用アプリの運営・維持管理

① manaable（マナブル）導入とVimeoの管理

② NELS事務局（クレバースキッド）によるシステムの運用と管理

③ その他 NELS 関連アプリの管理運用

(3) 第5回医療連携研修講座のハイブリッド開催

3月31日

(会場設置・オンライン・オンデマンド)

① 運営委員会会議（2回）

② 講座内容：「腰痛の医療連携」

講師：埼玉医科大学総合医療センター 教授 税田 和夫先生

埼玉医科大学医学部 客員教授 山口 智先生

日本鍼灸師会学術委員長 河原 保裕先生

日本鍼灸師会健保委員長 小林 潤一郎先生

日本鍼灸師会地域ケア推進委員長 菅野 幸治先生

日本鍼灸師会地域ケア推進委員 藤森 文茂先生

会場：大宮呉竹医療専門学校

2. 学術委員会

学術委員長 河原 保裕

学術講習事業

(1) 日鍼会 NELS 研修システム

① NELS の講師依頼

② 会員メールアドレスの収集と管理

③ 修了証（デジタル修了証）の発行

④ NELS 受講申込者の入会・退会者の把握

⑤ （公財）東洋療法研修試験財団の生涯研修制度に関するもの

正会員の履修単位集計（NELS など）と申請代行の業務

(2) 新学術研修単位管理システム（NGK）の運営と維持管理

2023年度チェック

3月13日

(3) 学術団体・鍼灸関連大学との交流

明治国際医療大学 伊藤教授（電子カルテについて）

2月16日

全日本鍼灸学会 山口副会長 (学術認定について) 10月29日、3月17日

(4) 蔵書の保管と管理 (データ化)

国文学資料館による蔵書 (古書のみ、45点158冊) のデータ化完了

(5) 全国学術部長会議 (WEB 開催)

WEB 会議開催 全国師会参加者 35名

11月3日

(6) 講師選定 WG 新設の検討

3. 健保委員会 療養費適正化事業担当・副会長・健保委員長 小林 潤一郎

療養費等の適正運用に関する研修

(1) 各師会の療養費等適正運用に関する調査研究

全国へ取扱件数、取扱金額、不支給件数、取扱上の問題点などについてアンケート
依頼 (5月1日)、集計・結果を保険部長にメール配信 (11月5日)

(2) 各ブロック、師会への療養費等適正運用に関する講師派遣

7月2日愛知県鍼灸マッサージ師会、7月9日鳥取・島根合同保険研修会、11月
19日三重県、1月14日愛媛県、3月10日近畿ブロック、3月24日京都府

(3) 療養費等適正運用に関する普及・啓発及び情報収集

- ① 各師会取扱いに関する質問、問題等へのメールによる回答 (随時)
- ② 受領委任に参加する保険者リストを各師会事務所、保険部長へ配信 (随時)
- ③ ブロック会議用回答作成
- ④ 厚生労働省発出の通知を全国へメール配信し周知を徹底 (随時)
- ⑤ 高知県に資料提供

(4) 厚労省保険局医療課との協議

- ① 料金改定について協議
- ② 全国からの問合せ等について協議

(5) 全国保険部長会議の開催 (WEB 開催) 出席 42師会

11月23日

(6) 施術管理者研修への講師派遣

4月23日、5月28日、6月25日、7月23日、8月20日、9月10日、
11月12日、12月10日、1月14日、2月4日、3月10日

(7) オンライン保険証の資格確認についてあはきの対応

1月19日厚労省アプリ説明会、厚労省通知、ポータルサイト情報を適宜全国に
配信

4. 国際委員会(旧海外情報委員会)

国際委員長 南 治成

WHO・ISO・諸外国等の鍼灸国際関連事業

(1) 伝統医学（医療）に関する調査事業

- ① インターネット等を利用した伝統医学（医療）情報の収集・報告
- ② JLOMにおけるICD伝統医学章の認知度向上への協力

自由民主党政務調査会知的財産戦略調査会国際標準化小委員会からの要請により、
伝統医学の国際標準化とJLOMについてレクチャー 4月18日

- ③ 日本の伝統医学（医療）の認知度向上のための各種調査

5. その他

日鍼会全国大会事業

(1) 担当師会との共催による全国大会企画・運営

第18回全国大会近畿ブロック大会

会 期：10月21日～22日

会 場：スターゲイトホテル関西エアポート

全日学関連事業

(1) 第72回（公社）全日本鍼灸学会学術大会 神戸大会

テーマ：鍼灸学の次代展望 ― 経験から学び、持続可能なエビデンスをつむぐー

会 期：6月9日～11日

会 場：神戸国際会議場

(2) eラーニング研修のコラボ事業計画

全日本鍼灸学会と協議

Ⅱ. 福 祉 事 業

福祉事業担当・副会長 小林 潤一郎

1. 地域ケア推進委員会

地域ケア推進委員長 菅野 幸治

介護予防事業推進事業

(1) 介護保険と地域支援事業の実態調査と支援

保健 介護予防推進事業室 要望書 9月5日付

介護予防教室等の実績報告（委員内検討及び資料まとめ）

(2) 医療・介護専門職団体との連携促進

第2回在宅医療推進のための会「コンパシオネイトコミュニティについて」

9月22日

第3回在宅医療推進のための会「地域で育つ医療的ケア児を支援する」 12月1日

第4回在宅医療推進のための会「在宅医療における人材育成」 3月8日

第19回フォーラム「近未来の地域創り～在宅医療の役割～」 11月23日

(3) 医療介護情報収集及び分析

医療連携アンケート実施（9月1日～15日）

(4) 各都道府県師会への情報提供及び連絡協調

地域ケア担当者 ZOOM 会議 8月31日

地域ケア推進委員会と担当者間での情報の共有／地域(各師会)担当者のリストの更新

地域ケア ZOOM 行脚

第3回 ZOOM 行脚

5月25日

第4回 ZOOM 行脚

11月16日

委員会 ZOOM 会議開催（全15回開催）

4月11日、5月11日、6月8日、7月13日・27日、8月10日・22日、
9月14日、10月5日、11月9日・30日、12月9日、1月25日、2月
8日、3月5日

(5) 冊子・ポスターなどを作成

全国ブロック会議向け「機能訓練指導員という働き方」チラシ作成

(6) 全国保険部長会議（WEB 開催）

11月23日

(7) 日本地域包括ケア学会への参加

WEB での情報収集

機能訓練指導員育成事業

(1) 機能訓練指導員に関する事業

① 機能訓練指導員研修（ベーシックコース）の開催

第1回開催 東京：7月29日～30日

第2回開催 東京：12月16日～17日

② 機能訓練指導員 実技等の補足研修のための情報収集

委員内での検討会議（WEB）を実施

機能訓練指導員協会運営会議 リアル開催

7月5日

③ 介護予防運動指導員情報提供

介護予防運動指導員名簿よりメール配信にて通知（随時）

Ⅲ. 公衆衛生事業

公衆衛生事業担当・副会長 児山 俊浩

1. 広報普及IT委員会

広報普及IT委員長 田中 一行

『日本鍼灸新報』・『けんこう定期便』の発行

(1) 『日本鍼灸新報』の発行及びPDF版ホームページ掲載

No.686（7月26日発行32ページ構成、全10校で校了、同封物3種）

No.687（10月4日発行28ページ構成、全13校で校了、同封物1種）

No.688（1月15日発行40ページ構成、全9校で校了、同封物2種）

No.689（3月27日発行20ページ構成、全9校で校了、同封物2種）

印刷郵送用8頁カラー（表紙＋7頁）、ホームページ用PDF版全頁フルカラー

会員、各都道府県師会、国会、官庁、大学、学校、研究室、図書館、関係諸団体等へ郵送、マイページの日本鍼灸新報送付先を「紙面送付」または、メールアドレス未登録の会員には誌面郵送、「メール送信」に設定の会員には、ホームページ用PDF版全頁フルカラーをメール案内

(2) デイジー録音図書CD（『日本鍼灸新報』朗読音声収録）の発行

(3) 『けんこう定期便デジタル版』の発行

(4) 広報及び編集

企画・取材・各種作成・レイアウト・編集・校正・校閲・印刷・封入・発行・郵送

各種事業案内・健康に関する案内・報告原稿等依頼・企業広告依頼

(5) 広報及び編集委員会の開催（WEB）

日本鍼灸新報発行毎にML協議

普及用制作物の提供

(1) 待合室掲示用ポスターの提供

(2) 普及活動用カード等ツールの提供

「鍼灸ネットカード」会員へ提供

「鍼灸ネット」は会員だけが登録できる鍼灸院検索サイト

患者様が最寄りの鍼灸院を探すために活用していただくことを目的

(3) 普及ポスターの提供

(4) 普及冊子等の増刷・販売

『科学も認める はりのチカラ』、『科学も認める はりのチカラ 2』

『地域包括ケアシステムと介護予防』、『健康余年延伸のために老年症候群対策』

(5) 普及活動用タペストリー・ポスターの提供

「ロールアップバナー」会員へ貸出提供

鍼灸師への入会案内、準会員募集の案内、企業への広告掲載募集のチラシ等作成

経穴人形による顔はめパネルや、経穴人形全身タイトの作成

(6) 全国大会 in 近畿での広報普及 IT 委員会ブース設置 10月21日～22日

(7) 関連団体及び広報担当者連絡会の開催

(8) 全国広報普及部長 ML の運営管理

鍼灸の普及活動

(1) 健康博覧会 2024 (東京ビッグサイト 東4・5・6ホール) 2月20日～22日

鍼灸講座開催「鍼灸師による美容施術ジャンルの現状と今後の活躍の期待について」

講師 広報普及 IT 委員会 委員長 田中 一行

鍼灸体験ブース出展、取材、広告掲載企業の勧誘

毫鍼・鍳鍼・圓鍼による施術、セラミック温灸やパイオネックスを用いた施術

3日間で、312名の来場者に鍼灸体験ブースにて施術を実施

メールマガジンの配信・管理

(1) 定期配信と臨時配信の実施及び記録と集計

定期配信 24回 (毎月2回二十四節氣に配信) 臨時配信 0回

(2) メールマガジン登録者の分類及び管理

(3) 内容企画・レイアウト・原稿作成・校正・校閲・配信

- (4) 最新ニュースや各都道府県師会の研修会・市民講座・市民マラソンをはじめ、
関連団体研修会やイベントなどの情報をいち早くお届け

Facebook の更新・管理

- (1) 情報即時掲載
- (2) テレビ番組、研修会、ポスターなどのお知らせ、ならびに健康サポートや東洋医学に関する内容提供
- (3) 内容企画・写真レイアウト・原稿作成・校正・校閲・記事掲載
- (4) フォロワー1,439人（3月31日時点）

Instagram の更新・管理

- (1) 一般国民、主に10～20代の若い世代
(Z世代18～24歳・ソーシャルネイティブ) に向けて発信
- (2) 鍼灸及び鍼灸師の仕事の魅力を発信
- (3) 活動内容等の情報については、迅速に発信
- (4) 内容企画・写真レイアウト・原稿作成・校正・校閲・記事掲載
- (5) フォロワー440人（3月31日時点）

プレスリリース

- (1) 国民向けの広報を強化するために、活動内容を11,000件以上のメディア（TV局・全国紙（全て網羅）・地方紙・専門紙・雑誌・ブログ／WEBサイト・ニュースサイト・ラジオ等）へプレスリリース
- (2) 内容企画・写真レイアウト・原稿作成・校正・校閲・プレスリリース

厚生労働大臣免許保有証の発行

(1) (公財) 東洋療法研修試験財団業務委託を受け、各都道府県からの申請書類を取り纏め申請

(2) 免許保有者カードを都道府県師会宛に発送

IT化の推進及びHPの作成

(1) IT化推進

メーリングリストの再構築

マナブルIT担当者会議

8月8日、14日

(2) ホームページ及び鍼灸ネットの維持・管理・運営

一般向け情報ページの拡大及び、各委員会独自の情報発信継続

IT委員会会議

6月8日、8月7日、3月29日

(3) サーバー管理・メンテナンス及びドメインの維持・管理

(4) 各師会IT連絡委員との情報交換

2. 危機管理委員会

危機管理委員長 是元 佑太

(1) 災害医療研修事業

① JIMTEF 災害医療研修への参加費助成

② 災害支援鍼灸師養成講座の開催およびサポート

③ JIMTEF 災害医療委員会会議への参加

5月19日

④ JIMTEF 災害医療研修へのファシリテーター派遣

9月17日～18日 アドバンスコース東京

11月 4日～ 5日 アドバンスコース関西

⑤ DSAM 災害支援鍼灸マッサージ師育成講習会の開催

7月30日

⑥ 鍼灸師養成施設での災害医療研修の実施

⑦ その他の災害医療研修への参加および講師派遣

(2) 危機管理委員会運営事業

① 危機管理委員会の開催 (WEB)

4月17日、7月10日・24日、8月18日、9月22日、1月26日

② 災害支援鍼灸師としての登録

③ 災害対策マニュアル等の作成および修正

災害支援活動マニュアル作成 1月13日

④ 各師会における災害対策委員会設置の支援及び協力

⑤ 災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会 DSAM の運営

DSAM 会議開催 5月1日、7月29日、12月21日、1月9日、

1月17日、2月8日、3月4日・28日

石川県珠洲市役所支援者運営会議参 3月26日

⑥ 日鍼会全国大会等での危機管理委員会ブースの運営 10月21日～22日

⑦ 日鍼会全国大会等での危機管理委員会セッションの開催

10月21日～22日

(3) 災害支援活動事業

① 災害支援先遣隊の派遣 (発災時)

1月8日～14日 (1名)、1月12日～17日 (1名)

② 災害支援鍼灸師の派遣コーディネート

③ 災害支援助成金等の申請 (日本財団) 2月19日

(4) 行政および関係諸機関との連携事業

① 関連学会等への参加

全日本鍼灸学会参加 6月9日～11日

日本災害医学会参加 2月22日～24日

② 関係諸機関との協議、折衝

厚生労働省地域医療計画課 1月22日

(5) 災害支援関連冊子等の発行事業

① 「ツボセルフケアハンドブック」の発行・管理

② その他の冊子・ポスター等の発行・管理

(6) 新型コロナウイルス感染症等対策事業

① 感染症等対策ガイドライン等の発行

② 感染症等感染防止啓発ポスター等の発行

③ 感染症等感染防止対策物資等の斡旋

④ その他感染症等感染防止対策に関する事業

(7) 危機管理に関する広報事業

① 災害支援活動その他の広報・プレスリリース

② ホームページ更新

(8) その他危機管理に関する事業

① リスクマネジメント研修の開催

10月24日

② 医療事故等の調査・対応

③ その他危機管理に関する事業

3. 国際委員会（旧海外情報委員会）

国際委員長 南 治成

(1) 諸外国の鍼灸関連団体との交流

① 国内外の関係者および関係団体からの要請による交流

② 日本伝統医療の普及啓発活動

(2) ISO/TC/ICD-11 関連会議の支援と協力

① JLOM AMED 全体研修会（JLOM 各会議内で開催）

② JLOM 国内審議団体会議

4月6日

・ ISO/TC249 推進会議

4月6日、5月23日、7月19日、1月29日

・ 総会

9月11日

- ・鍼灸電子カルテ標準参照仕様の策定に関する会議

4月2日、6月30日、8月25日、10月7日、12月9日、2月11日

- ・灸規格委員会会議 ①6月20日、④7月20日、⑤9月12日、⑥9月27日、
⑧11月22日、⑫1月24日、⑬2月1日、⑭2月7日、
⑮2月10日⑰2月12日、⑱2月17日、⑳2月27日、
㉑3月6日、㉒3月8日、㉓3月27日

- ・国際 SMD_TF 会議（後に TF から SG に名称変更） 2月15日

- ③ AMED 分担研究班会議 11月19日、12月10日

(3) 伝統医学（医療）に関する広報・普及事業

- ①シンポジウムの開催（WEB）

日 時：3月10日20時～

テーマ：Asia の鍼灸～伝統と革新のはざままで未来を紡ぐ～

パネリスト：郭 秀偉氏（台湾）、藤田 康介氏（中国）、宮崎 格氏（韓国）

5. スポーツ鍼灸委員会

スポーツ鍼灸委員長 児山 俊浩

- (1) アジア大会、都道府県師会のスポーツ鍼灸ボランティアにかかわる支援活動

世界マスターズ水泳選手権2023九州大会のボランティア参加、募集協力

8月4日～11日

- (2) 東京オリンピック・パラリンピックなどスポーツ鍼灸ボランティアにおいて得られた知識及び情報の公開

全日本鍼灸学会へ入稿作業

4月21日

- (3) スポーツ鍼灸ボランティア活動の企画および開催

- (4) eラーニングのスポーツ分野で学術・研修委員会に協力

IV. 賃貸業

不動産資産を3つのテナントに貸与している。

V. 会員相互扶助事業

会員相互扶助事業担当・副会長 安田 政寛

1. 組織委員会

組織委員長 新名 美恵

入会促進・組織強化事業

(1) 入会案内

- ① 入会案内資料の作成・配布
- ② 日本鍼灸師会紹介資料配布
- ③ 賛助会員 加入促進案内

(2) 新会員制度の周知・加入促進

- ① 準会員・賛助会員加入促進ツール作成と配布

・セイリン合同説明会にブース出展

10月1日（大阪）・15日（静岡）・29日（北海道）、11月19日（神奈川）、
3月10日（愛知）・17日（福岡）・23日（東京）

- ② 各都道府県師会との連携強化（会員制度の活用方法の検討と提案）

(3) 各種会議の開催

- ① 全国組織共済担当者会議（WEB開催）出席者 43名（30師会） 8月6日

- ② 組織委員会 WEB 会議等

4月10日、5月22日、7月5日・25日、8月19日、9月4日、

10月2日・21日・30日、12月4日、2月5日、3月11日

(4) 組織委員会活動を SNS アカウントにて情報配信

(5) ハラスメント相談窓口の管理

会員サポート事業

(1) 団体定期保険「日鍼会保障プラン」

- ① 「日鍼会保障プラン」加入勧奨事業
 - ・ 保険会社担当者との協議 随時

(2) 日本鍼灸師会総合賠償保険

- ① 新規加入・更新の案内
- ② 全国各師会へ事務代行を委託
- ③ 事務フローの整備
- ④ 保険会社担当者との協議 随時
- ⑤ 事故事例の調査と研究

(3) 団体扱保険

- ① 日鍼会団体所得補償保険・団体総合生活補償保険（MS&AD型）
- ② 団体扱い医療保険・がん保険
 - ・ 保険会社担当者との協議 随時

(4) 労災特別加入

- ・ 加入勧奨 災害防止研修会兼労災加入案内を ZOOM にて開催

2月27日、3月4日・5日・6日・7日・9日・28日（2回）

会員証付与及び会員章販売事業

(1) 「会員証」ステッカーの作製・配布

「会員証」ステッカーを全会員へ配布（鍼灸新報へ同封、会員宅へ個別郵送）

(2) 会員章の販売

会員章（ピンバッジ）の販売

2. 広報普及IT委員会（DK関係）

広報普及IT委員長 田中 一行

(1) DKシステム事業

DKシステムのソースデータ管理

3. 健保委員会

療養費適正化事業担当・副会長・健保委員長 小林 潤一郎

療養費等適用推進事業

(1) 都道府県師会における保険問題に関する対策

各師会から寄せられた質問、問題について厚生労働省保険局医療課療養指導専門官と連絡協議の上、回答

(2) 厚労省保険局医療課との協議

4月26日、5月24日、6月28日、7月26日、8月23日、9月27日、
10月25日、11月22日、12月27日、1月17日、2月27日、3月
22日（WEB）・27日

(3) 社会保障審議会 医療保険部会 あん摩マッサージ指圧、はり・きゅう療養費検討専門委員会に出席

- ・令和6年改定について：7月14日、12月1日、1月25日、3月18日
- ・オンライン資格確認について：9月22日、10月26日

(4) エビデンス構築のための鍼灸研究者との会議等

6月1日顔面神経学会、6月10日全日本鍼灸学会、6月17日日本東洋医学会

4. 青年委員会

青年委員長 田中 一行

青年各ブロックより青年ブロック長を招聘して、日鍼会青年委員会を構成している。

青年委員会の運営と各種会議・研修の開催

(1) 青年委員会会議（WEB会議）

(2) 全国青年部長会議（WEB開催） 出席者25名

2月18日

(3) 全国青年部長 GML や LINE グループの活用

ML の整備やリスト化、LINE グループの整理を実施中

(4) 日鍼会事業推進への協力

(5) (公社) 東洋療法学校協会との要穴カルタ大会の共催

全国大会 in 近畿にて、青年近畿ブロックと協力

公益社団法人日本鍼灸師会青年委員会と

全国各鍼灸師会青年部の合同事業（青年コラボ事業）

(1) 青年各ブロックとの合同事業

(2) 青年企画補助事業 福島県・埼玉県・東京都・長野県・三重県にて開催

VI. 法人管理事業

法人管理担当・副会長 小林 潤一郎

1. 法人管理委員会

法人管理委員長 永島 茂雄

本会運営管理

(1) 諸会議運営に関する事

① 代議員総会（2回）

・ 定時総会 6月18日 ステーションコンファレンス万世橋（東京都千代田区）

・ 臨時総会 8月26日 としま区民センター（東京都豊島区）

② 代議員総会対応協議会（1回）

6月18日 ステーションコンファレンス万世橋（東京都千代田区）

③ 理事会（10回）

5月14日、6月18日・19日、7月3日（WEB）・12日（WEB）、

8月22日（WEB）8月27日、11月12日、1月28日、3月24日

④ 役員研修会

8月26日

⑤ 業務執行委員会（４回）

基本、理事会のない月の第２水曜日（WEB開催）

４月１２日、９月１３日、１２月１３日、２月１４日

⑥ 正副会長会議（９回うち８回WEB開催）

７月９日・１４日、８月１０日（日鍼会会議室）・２２日、

９月８日・１４日、１２月２８日、２月２９日、３月１９日

⑦ 全国師会長会議・全国ブロック会長会議

１２月３日

かつしかシンフォニーヒルズ別館（東京都葛飾区）

⑧ ブロック会議（７回）

北海道：９月３日（北海道）

東北：６月２４日・２５日（秋田県）

関東甲信越：７月１６日（神奈川県）

東海北陸：１０月８日・９日（富山県）

近畿：９月２３日・２４日（大阪府）

中国・四国：９月１７日・１８日（徳島県）

九州：９月９日・１０日（長崎県）

⑨ 法人管理委員会（WEB開催）

９月２９日、１０月１２日、１１月１１日

(2) 関係官庁、諸団体との協調・交流

厚生労働省、内閣府、日本医師会、東洋療法研修試験財団、東洋療法学校協会、国際医療技術財団、日本理学療法器材工業会、国民年金基金、日本東洋医学物理療法学会、日本東洋医学会、日本統合医療学会、日本中国友好協会、業界関係団体、学術団体、鍼灸大学・鍼灸師養成施設等、AcupopJの関連会議

(3) 関係官庁等との定期協議

あはき等法推進協議会

５月３０日、７月２５日

(4) 事務処理、庶務事業、渉外事業、財務処理

・監査会

5月13日、12月2日

(5) 公益社団法人としての内部規程の整備

・役員選任規程の一部改正 ・休会規程の一部改正 ・役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正 ・謝金取扱内規の一部改正

(6) 未病戦略を考える WG

4月14日 (WEB)、5月13日、5月30日 (WEB)

(7) 各師会等の式典・慶弔

全国病院理学療法協会創立75周年記念式典、滋賀県法人設立50周年記念式典、矢野忠先生叙勲祝賀会、池田良一先生叙勲祝賀会、一見隆彦先生叙勲祝賀会、福島県立医科大学会津医療センター漢方医学センター開講10周年記念学術集会

(8) 表彰

① 叙位叙勲褒章

旭日双光章

池田 良一 (長野) 2023年 4月29日

吉田 隆一 (福井) 2023年 5月12日

藍綬褒章

江口 雅昭 (佐賀) 2023年11月 3日

② 厚生労働大臣表彰

堀口 正剛 (大阪) 2024年 2月20日

③ 知事表彰等

ア 知事表彰

村上 悟 (埼玉) 2023年11月 8日

山下 義光 (福井) 2024年 2月 7日

町野 公一 (愛媛) 2024年 1月14日

三浦 隆 (大分) 2023年11月 3日

イ 知事感謝状

寺本 享央 (和歌山) 2023年11月20日

2. スポーツ鍼灸委員会

スポーツ鍼灸委員長 児山 俊浩

(1) 関係官庁との連絡、挨拶

(2) 他団体との連絡協議会を開催

(3) スポーツ鍼灸委員会開催

8月8日 (WEB)

(4) eラーニングのスポーツ分野で学術・研修委員会に協力

2023年度事業報告の附属明細書の件

公1 鍼灸学術及び鍼灸の医学的研究の振興と鍼灸師の資質向上を図るための研究会、講習会、研修会、講演、シンポジウム等の開催並びに調査研究活動等の事業

I. 研修事業

- (1) 専門領域研修事業
- (2) 鍼灸臨床研修事業
- (3) 学術講習事業
- (4) 療養費制度の適正運用に関する研修等

(1) 専門領域研修事業

2023年度 生涯研修制度（申請代行）

区分	申請数	師会名
財団共催の生涯研修 （試験財団2枠）	2件	（一社）岐阜県鍼灸師会・（一社）兵庫県鍼灸師会
生涯研修会	24件	北海道・宮城県・福島県・茨城県・栃木県・埼玉県 千葉県・東京都・神奈川県・石川県・長野県・岐阜県 静岡県・（一社）愛知県・三重県・滋賀県・京都府・ 大阪府・兵庫県・鳥取県・岡山県・香川県・愛媛県・ 日鍼会NELS

(2) 鍼灸臨床研修事業

日鍼会 eラーニング研修システム(NELS/ネルス)

NELS 受講人数	
NELS 受講申込数 /令和6年3月31日付け	669名
ログインなし	81名
未受講	248名
受講中 *1	318名
全受講済み	12件

*1：受講中の内訳 CFS受講済140名、LES受講済65名、PDS受講済12名

- (3) 第5回医療連携講座 令和6年3月31日(日)
 会場：大宮呉竹鍼灸医療専門学校
 受講者総数：159名(会場48名、WEB111名)

- (4) 健保委員会
 ・『はり・きゅう保険ガイド』 2,200部(個人・師会頒布分)

(公社)日本鍼灸師会全国大会事業 出席者数

区 分	会 員	一 般	学 生	総参加数
第18回 近畿大会	232名	29名	60名	321名

※別で無料府民公開講座への市民参加82名

公2 市区町村の行う「介護予防事業」の推進と、その事業の担い手である介護予防の
 専門家を育成するための介護予防運動指導員の育成に関する事業

II. 福祉事業

介護予防事業の推進事業

2023年度各都道府県師会への情報提供及び連絡協調

開催	参加人数	参加師会数	開催日
地域ケア担当者会議	47名	33師会	令和5年8月31日

2023年度介護保険と地域支援事業の実態調査と支援

開催	参加人数	参加師会数	開催日
第3回 ZOOM 行脚	55名	36師会	令和5年5月25日
第4回 ZOOM 行脚	62名	31師会	令和5年11月16日

介護予防運動指導員サポート事業

2023年度認定機能訓練指導員実務研修会（ベーシックコース）

開催地	実参加	ZOOM参加	計	開催日
東京	13名	67名	80名	令和5年 7月29日・30日
東京	9名	30名	39名	令和5年12月16日・17日
計	22名	97名	119名	

公3 国民に対し鍼灸に関する理解を広げるための普及啓発事業

Ⅲ. 公衆衛生事業

(1) 広報普及IT委員会

【編集】

2023年度発行部数及び送付数

	けんこう 定期便	日本鍼灸 新報	発送数 (メール便)	発送数 (宅急便)	デージー版
	WEB配信	4回発行	会員・学校等	各師会等	4回発行
686号	—	4,652	4,105	38	138
687号	—	4,639	4,090	34	138
688号	—	2,300	1,554	34	133
689号	—	2,224	1,572	34	135
合計	—	13,815	11,321	140	544
備考(R4年度)	0	19,541	17,322	142	560

(※令和4年度は鍼灸新報4回発行)

【普及】

(1) パンフレット等頒布状況（2023年度）

	年度初数	発行	頒布(配布)数	年度末数
冊子「はりのチカラ1」	3,094	0	137	2,957
冊子「はりのチカラ2」	784	0	137	647
「地域包括ケアシステムと介護予防」	4,064	0	117	3,947
「老年症候群対策」	752	0	127	625

(2) ツボ療法カレンダー（セイリン株式会社） 12,450部頒布（2022年度：14,450部）

(2)厚生労働大臣免許保有証の発行事業

2023年度 厚生労働大臣免許保有者証の発行（申請数と差異あり）

都道府県	発行数	累計交付 申請件数	都道府県	発行数	累計交付 申請件数	都道府県	発行数	累計交付 申請件数
北海道	12	151	石川	7	75	島根	1	19
青森	0	21	福井	1	55	岡山	3	126
岩手	0	4	山梨	0	41	広島	0	20
宮城	3	45	長野	1	215	山口	1	46
秋田	0	10	岐阜	1	51	徳島	0	15
山形	0	27	静岡	4	95	香川	3	79
福島	3	151	愛知	9	87	愛媛	2	93
茨城	1	65	愛知	3	60	高知	0	10
栃木	0	13	三重	1	126	福岡	1	41
群馬	0	29	滋賀	0	35	佐賀	0	0
埼玉	3	80	京都	5	94	長崎	0	53
千葉	6	90	大阪	6	196	熊本	1	25
東京	31	342	兵庫	6	120	大分	0	23
神奈川	9	204	奈良	0	49	宮崎	0	8
新潟	5	41	和歌山	0	20	鹿児島	0	6
富山	5	16	鳥取	1	5	沖縄	0	16
						合計	135	3,197

(3)危機管理委員会

2023年度 危機管理委員会実績（災害支援鍼灸師養成講座）

参加者数 開催日	実参加	ZOOM参加	計	備考
7月30日	58名	37名	92名	中和医療専門学校(愛知県)

2023年度 リスクマネジメント研修会（WEB開催）

参加者数 開催日	ZOOM参加	備考
10月24日	262名	会員155名、準会員32名、一般75名

・『ツボセルフケアハンドブック』 550部（個人頒布分）・1,760部（師会頒布分）

(4)国際委員会

シンポジウム「Asiaの鍼灸～伝統と革新のはざままで未来を紡ぐ」 3月10日

WEB	視聴回数	開催後の見逃し配信	延べ数
参加者数	当日92名	277名	369名